レニー・ブルース（1974）

LENNY

メディア 映画
ジャンル 伝記　ドラマ
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　112分
初公開日 1975/10/25
公開情報 ＵＡ

【キャッチコピー】
その声は夜のしじまをふるわす魂の叫び！　その言葉は全米を突き刺す鋭い刃！　暗いステージから誰もいない客席へ――　孤独のスポットを浴びた　レニーの声が聞こえる！
「キャバレー」の鬼才ボブ・フォシーが数奇な運命をたどった悲劇の　エンターテイナー、レニーへ捧げる鎮魂歌！

【解説】
　“ヤツらを喋り倒せ”という自伝の題が語るように、攻撃的なトークで人気のあったスタンダップ・コメディアン＝ブルースの、ジャンキーな生涯の映画化。ユダヤ人であることを核に笑いを作っていくコメディアンは多いが、彼の偽善を嫌う姿勢は凄まじいほどで、自らの生い立ち、人種偏見、政治不信……すべて剥き出しにして笑い飛ばしていく。その姿勢は私生活でも変わらず、妻との不和は時に暴力を呼び、互いにボロボロになるまで傷つけあって離婚。ますます麻薬に依存するようになった彼は、聴衆の支持も失い、やがて……。そのラスト・カットの静止画の鮮烈さは忘れ難い。ホフマンは熱演。Ｂ・フォッシー初の非ミュージカル作品で、彼は後に本作の発展型として、よりパーソナルな大作「オール・ザット・ジャズ」を撮ることになる。舞台の照明を逆光として活かしたサーティースのモノクロ撮影は完璧である。妻役のＶ・ペリンも入魂の演技で、カンヌで女優賞に輝いた。

【クレジット】

監督	ボブ・フォッシー	Bob Fosse
製作	マーヴィン・ワース	Marvin Worth
製作総指揮	デヴィッド・Ｖ・ピッカー	David V. Picker
原作	ジュリアン・バリー	Julian Barry
脚本	ジュリアン・バリー	Julian Barry
撮影	ブルース・サーティース	Bruce Surtees
音楽	ラルフ・バーンズ	Ralph Burns
出演	ダスティン・ホフマン	Dustin Hoffman
	ヴァレリー・ペリン	Valerie Perrine
	ジャン・マイナー	Jan Miner
	スタンリー・ベック	Stanley Beck
	ゲイリー・モートン	Gary Morton
	ガイ・レニー	Guy Rennie

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.